

表 6 課題研究の年間指導計画

実施月	単元名	学習内容	配当時間	観点別評価				評価方法
				知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
				【学ぶ力】	【伝える力】	【かかわる力】	【見つめる力】	
4月～7月	思考技術の習得	問題発見、解決の技法を学ぶ	24	問いの立て方や問題点を整理するための技法を理解する。	アイデアを整理し分類することで、問題を明確化させることができる。	他者とともに多様な視点で問題点を見出し、主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	ワークシートや発表資料を用いて自らの取組を評価し、改善点を見出すことができる。	ワークシートによる記述 活動の様子の観察 リフレクションシート
9月～10月	地域課題の学習	地域が抱える課題について、原因を調べ、解決策などを他者に伝える。	16	多角的に情報を収集し、整理する技法を理解する。	他者に伝えるための方法を学び、資料を作成することができる。	テーマに興味を持ち、問題意識を明確にして意欲的にテーマ設定をしようとする。 グループ内で協力して活動しようとする。	情報の正当性を確認しながら結論を導き出し、その結果からふりかえりや今後の計画を立案することができる。	ワークシートによる記述 活動の様子の観察 リフレクションシート
11月	中間発表とその準備	聞き手を意識した資料や伝え方を考える。他者の発表に対して積極的に質問をし、課題を明確にするための充実した対話をめざす。	8	発表の要点がわかりやすく見やすい資料を作成できる。 聴衆を意識した明瞭でわかりやすい発表を行うことができる。	取り組んだ成果を的確に伝えることができる。 疑問点を整理し端的に質問ができる。 質問に対して回答でき、対話を成立させられる。	相互に発表の質を高めることができるよう、高い関心と批判的思考で取り組もうとする。	これまでの活動をふりかえり、今後の目標を明確にすることができる。 他者からの意見を受け入れ、グループでの主張の真偽について考察できる。	発表資料 発表（パフォーマンス評価） リフレクションシート
12月	さらなる解決策の検討		8	取組で得られた課題点をわかりやすくまとめることができる。	発表会を受けて、状況を整理して把握し、さらなる課題解決についてグループで意見を出し合い展開することができる。	グループで協働して課題解決に取り組もうとできる。	発表会を受けて、自分たちの活動を見直すことができる。	ワークシートによる記述 活動の様子の観察 リフレクションシート
1月～2月	発表準備、発表会（ポスターセッション）	取組を伝えようとする情熱と工夫に満ちた発表、意欲的に傾聴し活発な質疑をめざす聴衆で構成される発表会を実施する。	14	グラフや表を利用したりして、取組成果をわかりやすく発表ができる。 取組で得られた事項やさらなる問題点を十分に理解している。	取組成果を理解してもらえるような発表の工夫ができる。要点を端的にまとめた発表資料を作成できる。	積極的に質疑に参加し、発表会をより良いものに行おうとしている。	課題に関する情報が適切かつ正確に得られ、自分たちが設定した課題と結びつけることができる。	発表資料 発表（パフォーマンス評価）